

授業科目 教育社会制度論 I

【担当教員名】 吉田 重和	対象学年	2	対象学科	健康・スポ・看護
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○
【概要・一般目標：GI0】 価値観が多様化・複雑化している現代社会において、学校教育を中心とする教育制度もまた、多様化・複雑化してきている。現代社会において、子どもの教育の質を保証するための仕組みが制度的・行政的にどのように確立されているかを受講者が理解することを、本講義の目標とする。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代教育の諸問題の傾向性と特徴について、統計指標を踏まえた上で説明できる。 2. 現代の公教育の制度的枠組みと理念について、成立の歴史的背景を踏まえて説明できる。 3. 現代教育の制度的・行政的運用実態について、複数の観点から課題を含め説明できる。 4. 学校経営について、基礎的な知識を持つとともに、具体的な実践例を知る。 5. 教職員の職務・サービスと教員評価について、基礎的な知識を持つとともに、具体的な実践例を知る。 6. 児童・生徒の管理に関する基礎的な知識を持ち、具体的な実践例を知る。 7. 指定課題文の読解とグループワークを通して、教育制度上の様々な問題について、その概要とポイントを理解する。 				
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号 学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション／現代教育の諸問題			1 講義
2	現代の公教育制度			2 講義
3	教育法制			3, 7 講義、グループワーク
4	教育行政			3 講義
5	学校経営と学校評価			4 講義
6	教育課程経営			4, 7 講義、グループワーク
7	教職員の職務・サービスと教員評価			5 講義
8	児童と生徒の管理			6 講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	現代教育の制度と行政 現代教育制度論	河野 和清 他 土屋 基規	福村出版 ミネルヴァ書房	2008・2,300円＋税 2011
その他の資料	必要に応じて資料を配布			
【評価方法】 平素の学習状況（出席状況、授業態度、ワークシートや小レポートの内容／25%程度）及び定期試験の結果（75%程度）を総合的に判断して評価する。	【履修上の留意点】 本講義を受講するにあたっては、「教職概論」「教育原理（教育史、教育課程の意義含む）」を履修していることが望ましい。			